

読んでごらん おとし311よ



2021

図書目録「読んでごらんおもしろいよ」2021(56号)をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

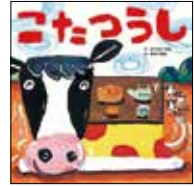
この目録を利用するために

1. 令和2年(2020年)に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これはめやすです。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は令和2年(2020年)12月現在のものです。

(5) こたつうし

かわまたねね 作 長谷川義史 絵
世界文化社 24P 25×25cm 1,300円 [創作絵本]

わたしはこたつうし。寒くてこたつから出なくなったら、こたつうしがくつついた。こたつうしで、こたつうし。ある日、こどもたちが「おかあさんにはなんでこたつがついているの?」「こどもたち、ついにこたつのよさをしるときがきたよね」



(6) しば犬こたのしっぽぼっぽ

影山直美 作
神宮館 32P 27×22cm 1,300円 [創作絵本]

しば犬のこたは、しっぽで気持ちを伝える。大好きなけんちゃんと一緒に遊ぶ時、プルンプルン。お散歩でごきげん、フリッフリ。お友達と会った時、ライバルと会った時、こたのしっぽを見て! どうなっているかな? 顔もよ〜く見て。



(7) すずめのうんどうぼうしつくります

西本鶏介 作 黒井健 絵
金の星社 28P 27×22cm 1,350円 [創作絵本]

あきのある朝。ぼうしやさんの庭で、1羽のすずめがうんどう会のれんしゅうをしていた。「とびっこくらべでいっとうになりたくて」「かんしんかんしん」ぼうしやさんはこのすずめをおうえんしたくなり、赤いうんどうぼうしを作ってあげることにした。



(8) ちいさなかわいいおべんとうばこ

宮野聡子 作
小学館 32P 27×22cm 1,400円 [創作絵本]

野原にだれかの忘れもの。小さなかわいいおべんとうばこ。やまねがいっぴきやってきて、ねほけまなこでもっていった。ちょっぴりかります、ちゃぷちゃぷちゃぷ。ねおきのおふろがいきもち。やまねが入ったおべんとうばこ、お次はうさぎが……。



(9) でんちゃんとせんちゃん

丸山誠司 作・絵
鈴木出版 24P 21×28cm 1,300円 [創作絵本]

電車のでんちゃんと線路のせんちゃんの日が始まった。ガタコーンガタコーン。せんちゃんは、お花畑やパン屋さんが気になるけど、「そっちじゃないよ。はやく駅に行かなくちゃ。もうよりみちしないだね」「わかった」あれあれ雨が……。



(10) どきどきオムライス

荻田澄子 作 ドーリー 絵
鈴木出版 24P 21×28cm 1,300円〔創作絵本〕

こぶたのふうふはオムライスが大好き。れいぞうこをあけると
たまごがない！たまごやさんでもうりきれ。しょんぼり歩いてい
ると、みんなオムライスをたべている。「ほくだってたべたいよ！」
その時、たまごをもったおおかみが！「わけてもらえないかな」



(11) ベッドのなかはきょうりゅうのくに

まつおかたつひで 作・絵
童心社 40P 20×27cm 1,400円〔創作絵本〕

「おやすみなさい」ねこのミーコと一緒におふとんの中にも
ぐっちゃえ。ほらあなたんけんた！ふとんの中を進んでいく
と……ようやく出口が見えてきた。あれ、遠くから何かやっ
てくる。ドドドドド……わあ！すごい数のきょうりゅうだ！



(12) まざっちゃおう！ —いろいろないろのおはなし—

アリー・チャン 作・絵 小栗左多里 訳
フレーベル館 33P 23×29cm 1,400円〔創作絵本〕

仲良く暮らしていたあか・あお・きいろ。ある日とつぜん「あ
かがさいこう」ってあかが言い出し、みんな別々に住むことに。
だけど、きいろとあおが一緒にいると、毎日わくわく楽しく
なったんだ。だから決めたよ。大好きだからまざっちゃおう！



(13) もうふちゃん

くさかみなこ 作 よしむらめぐ 絵
小学館 31P 28×22cm 1,400円〔創作絵本〕

もうふちゃんはチイちゃんのお気に入り。もうふちゃんがい
ないと眠れない。とてもいい天気の日、外に干されていたもう
ふちゃんは強い風で森へとばされてしまった。「たいへん！うち
にかえらないと。チイちゃんがねむれなくなっちゃう！」



(14) もぐらくんのねがいごと

キム・サンガン 作絵 猪川なと 訳
岩崎書店 33P 25×22cm 1,400円〔創作絵本〕

はじめて雪がふった日、もぐらくんは小さな雪だまに、そっ
とあいさつをした。「うちにおいでよ。バスにのっていこう」でも、
雪だまはバスに乗れないって。「いいかんがえがひらめいた！」
もぐらくんは雪だまのかたちを変えて、バスを待つことにした。



(15) やさいのおにたいじ ―御伽草子「酒呑童子」より―

つるたようこ さく

福音館書店 32P 20×27cm 900円〔創作絵本〕

京の都におそろしい鬼が現れた。さらわれた娘たちを救うため、知恵と勇気のある京野菜6人が集まった。鬼はつもの生えたこんにやく芋。固い皮の竹の子を先頭に、山を越え川を渡り、力を合わせて鬼の住む東の山目指して進んでいった。



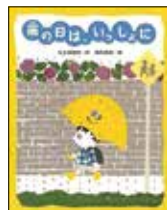
◆ 小学1・2年生から ◆

(16) 雨の日は、いっしょに

大久保雨咲 作 殿内真帆 絵

佼成出版社 64P 20cm 1,200円〔日本文学〕

ぼくは、ハルくんの黄色いかさ。学校の帰り道、ハルくんが石ころにつまずいて、ぼくは、ぼおんと地面にほうりだされてしまった。そのまま風にのせられて、空へ……。これはチャンス！じゃあね、ハルくん！ぼくは、ちょっと旅に出てくるよ。



(17) ありがとう、アーモ！

オーゲ・モーラ 文・絵 三原泉 訳

鈴木出版 32P 29×24cm 1,500円〔創作絵本〕

アーモはいま、シチューをつくっているところ。おおきなおなべいっぱい、とろーりとろとろ、とくせいシチュー。おいしそうなにおいは、ドアのすきまからもふーわふわ。しばらくしたら、トントン！だれかがドアをたたいた。



(18) おとうふ2ちょう

くろだかおる さく たけがみたえ え

ポプラ社 32P 27×21cm 1,400円〔創作絵本〕

おつかいのかえりみち、「おとうふもう1ちょうかってきて」とたのまれたケンちゃんは、おかあさんに「おもたずぎてもてない」とウソをいった。おかあさんはしかたなくけんちゃんのふたごのいもうとたちにおつかいをたのんだが……。



(19) カールはなにをしているの？

デボラ・フリードマン 作 よしいかずみ 訳
B L 出版 40P 30×24cm 1,500円 [創作絵本]

つち
土のなかでくらすミミズのカールは、やすむことなく土をほる。あるとき、野ネズミがカールにたずねた。「どうしてきみは、そんなことしているの？」カールにはわからない。だれのために？なんのために？よし、こたえをさがしにいこう。



(20) かけだしたアイス

サトシン 作 ドーリー 絵
あわわ 32P 25×22cm 1,400円 [創作絵本]

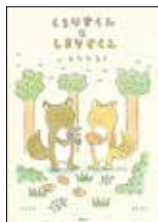
「さらば、しりにしかればなしだったせいかつよ！」あるひ、アイスのはじぶんのおもうがままにうごけるよろこびをした。そのはしりっぷりはたいしたもの、だれもかつことができなかった。そこにしじょうさいきょうのライバルがあらわれた。



(21) くろりすくんとしまりすくん

いとうひろし 作・絵
講談社 96P 22cm 1,200円 [日本文学]

きたのもりにすむくろりすくんは、はるのはじめにしまりすくんとであった。なつによる、ほしがひとつながれたとき、くろりすくんは「しまりすくんとずっといられますように」とおねがいをした。やがて、とうみんのときがちかつき……。



(22) ジェンと星になったテリー

草野あきこ 作 永島壮矢 絵
岩崎書店 79P 22cm 1,000円 [日本文学]

ほくはゴールデンレトリバーのジェン。リビングにはほくそっくりのイヌの写真がある。まえにかわれていたテリーだ。星になったはずなのに、テリーはとつぜんあらわれる。ほくには見えるのに、パパもママもユイも気づいていないんだ。



(23) しらゆきちりかちっちゃん

薫くみこ 作 大島妙子 絵
P H P 研究所 79P 22cm 1,200円 [日本文学]

わたしのうしろのせきには、いつもライオンがいる。こわくおお大きくて、この前なんか、わたしのふでばこにカエルを入れてきた。雨の日、ライオンが、かさもささずにりょう手を広げて、上級生のおにいさんたちの前でとおせんぼをしていた。



(24) そのときがくるくる

すずきみえ 作 くすはら順子 絵
文研出版 79P 22cm 1,200円 [日本文学]

ぼくは、たくま。一年生。きょうは、きゅうしょくでんですが、
でるから、学校がっこうにいきたくない。あのぐじゅぐじゅしたがい
なすがきらいなんだ。おじいちゃんは、いつかおいしく食たべら
れるときがくるっていうけど。ぼくは、ずっとこないとおもう。



(25) そらいろのてがみ

ながしまひろみ 作・絵
岩崎書店 32P 28×22cm 1,400円 [創作絵本]

ゆきちゃんのもとに、そらいろのてがみがとどく。「もうす
くはるがきます」と。はるってどちらさま？さらさらとふく
かぜ。かわいたすなのにおい。これがはるか。——また、あ
るあさ、みたことのあるふうとうがとどく。そこには……。



(26) どこからきたの？おべんとう

鈴木まもる 作・絵
金の星社 32P 24×25cm 1,300円 [創作絵本]

「いただきまーす」きょうのおべんとうはなにかな？ふたを
あけると、たまごやき、ポテトサラダ、おにぎり、アジフラ
イ……おいしそう！フーン、そうか。このたまごやきって、
こんなところからきてるんだ。じゃあ、このポテトサラダは？



(27) ブウさん、だいじょうぶ？ —ともだちがたいへんなことになっていたら—

バレリー・ゴルバチョフ 作 かわしまなみ 訳
山本 32P 29×22cm 1,600円 [創作絵本]

「ブウさんはもうおきてるかしらん」と、やぎのメエさん。きよ
うは、なかのいいふたのブウさんちのばんごはんによばれている。
おとなりのブウさんのうちをのぞくと、そこにはないブウ
さんのすがたが……たいへん！なにかあったにちがいない！



(28) ぼくのきょうりゅうかんさつ日記^{にっき}

長崎真悟 作・絵 真鍋真 監修
徳間書店 32P 24×29cm 1,500円 [知識絵本]

ぼくはおとうさんといっしょにタイムマシンできょうりゅう
をかんさつしにいくんだよ。きょうりゅうがすむじだいはどん
なところなんだろう。あ！ティラノサウルスだ！トリケラトプ
スに、スピノサウルスもいる！わくわくがとまらないよ。



(29) ぼく、ひつじじゃなくてぶたなんだ

ビム・ラマース ぶん ミルヤ・ブラーフマン え 長山さき やく
ほるぷ出版 27P 27×21cm 1,500円〔創作絵本〕

みためはこひつじだけれど、こころのなかはこぶた。「へんてこりんなこひつじだな」とみんなにわらわれた。ぼくはこぶたなんだよ。どろのなかでころげまわるのがすきなんだ。まっしろなからだでくさをたべてあるきまわるなんて、ぼくらしくない。



(30) みどりバアバ

ねじめ正一 作 下田昌克 絵
童心社 39P 21×23cm 1,400円〔創作絵本〕

こうくんにはおいしいコロッケをつくってくれるみどりバアバがいる。みどりバアバははなやのみせばんがだいすき。でもどんとんてがうごかなくなり、ついにおみせにもいけなくなつた。かなしそうなみどりバアバ。そしてこうくんは……。

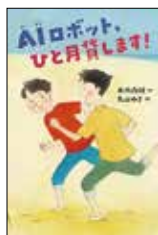


◆ 小学3・4年生から ◆

(31) A I ロボット、ひと月貸します！

エーアイ
木内南緒 作 丸山ゆき 絵
岩崎書店 95P 22cm 1,200円〔日本文学〕

未来科学研究所にやってきたぼくに、所長さんが最新のA Iが入ったロボットを貸してくれた。分身ロボットが作れるらしい。うたがった気持ちのまま作ってみると……「うわあー！」目の前にぼくが立っていた。返却期限はひと月後。



(32) エルビス、こっちにおいて

ロドリゴ・モルレシ文 きたむらさとし 絵 宇野和美 訳
さ・え・ら書房 159P 20cm 1,400円〔外国文学〕

「家族ってなあに？」ぼくはのら犬。ひとりぼっちでほかの犬からいじめられてばかり。小さいころ母さんによく言われた。「自分の家族をさがすのよ」と。ある日、ぼくは車にはねられアノの家に連れてこられた。そしてエルビスという名前をもらった。



(33) オオハシ・キング —ぼくのなまいきな鳥—

当原珠樹 作 おとないちあき 絵

PHP 研究所 158P 20cm 1,400円 [日本文学]

ぼくは^{おおはしたくま}大橋^{ねんせい}拓真、4年生。「^やほり^{ちゅうなんべい}だしもの^や屋^{ちゅうなんべい}」で^や中南米^{ちゅうなんべい}の^かコ^なスタリカ^なの^かきん^なちゃく^なぶくろ^なを買^なった。ん？中^なにな^なにか^な入^なって^ないる。ピンク^な色^なの丸^ない物^なが一つ。これ、^な卵^なじゃ^なない^なか？『人^なと^な鳥^なの^な友好^なを^な深^なめ、^な幸^なせ^なを^なも^なたら^なす^な鳥^な』の^な伝^な説^なの^な卵^なか^なも^なし^なれ^なない。



(34) おひめさまになったワニ

ローラ・エイミー・シュリッツ 著 ブライアン・フロッカエ 中野怜奈 やく
福音館書店 79P 25cm 1,600円 [外国文学]

1日3回のおふろ、図書館でのペンきょう、なわとび500回。
きびしいしつけを^なさ^なれて^ないる^なコー^なラ^なひ^なめ^なは「^など^なう^なか^なわ^なた^なし^なを^な
た^なす^なけ^なて^なく^なだ^なさい」と^な妖^な精^なに^な手^な紙^なを^な書^ないた。つぎ^なの^な日^なの^な朝^な、^なベ^なッ^なド^な
の^な足^なも^なと^なに^な大^なき^なな^なは^なこ^なが。ふ^なた^なを^なあ^なけ^なると——^なワ^な、^なワ^なニ^な？



(35) かみさまのベビーシッター

廣嶋玲子 作 木村いこ 絵

理論社 127P 21cm 1,400円 [日本文学]

幸^{こう}介^{けい}が^{しょう}商店^{てん}街^{がい}の^ふ福^く引^びき^あで^あ当^あて^あた^あの^とは^と特^と賞^{しょう}の^かか^かみ^かさ^かま^かの^たま^たま^たま^たま^た。
色^{いろ}は^{いろ}に^{いろ}じ^{いろ}色^{いろ}の^しま^しも^しも^しよ^しう^しで^ずず^しり^しり^い重^いい。家^{いえ}に^{かえ}帰^{かえ}っ^てお^お母^おさん^おに^お見^みせ^せると「^なも^なしか^なし^なたら^な願^{ねが}い^ごと^だっ^てば^んば^んか^な
な^なえ^なて^なく^なれ^なる^なか^も」^なだ^なっ^て。早^{はや}く^う生^うま^られ^てき^てよ^ね、^かみ^かみ^かさ^ま。



(36) 世界遺産知床の自然と人とヒグマの暮らし

伊藤彰浩 写真 伊藤かおり 文

少年写真新聞社 56P 19cm 1,600円 [ヒグマ]

北^ほ海^{かい}道^{どう}の^{ひがし}東^{とう}の^はし^しに^ある^ある^あ知^ち床^{じょう}半^{はん}島^{とう}。と^とも^ま貴^き重^{じゆう}な^の自^じ然^{ぜん}が^のこ^こ残^{のこ}さ^れた^た知^ち床^{じょう}で^は、と^とき^とき^とヒ^ひグ^ぐマ^まが^の路^ろ上^{じやう}に^ま姿^{すがた}を^{あらわ}現^まし、^ヒグ^ぐマ^まを^みた^い観^{かん}光^{こう}客^{きやく}に^よる^る「^はヒ^ひグ^ぐマ^まじ^じゆう^{じゆう}たい^{たい}」が^お発^{はっ}生^{せい}す^る。多^{おほ}く^くの^{ちゅう}注^{しゆ}目^{もく}を^あび^るヒ^ひグ^ぐマ^まと^と地^ち元^{げん}の^{ひと}人^びと^はど^どん^んな^な生^{せい}活^{かつ}を^お送^{おく}っ^てい^いる^らの^だら^う。



(37) たったひとりのあなたへ —フレッド・ロジャーズから子どもたちへのメッセージ—

エイミー・リード 文 マット・フェラン 絵 さくまゆみこ 訳

光村教育図書 39P 27×22cm 1,500円 [創作絵本]

フレッドはからだ^なが^なよ^よわ^わく^くそ^そと^とに^にで^でら^られ^れず、^なか^かな^なか^かと^とも^もだ^だち^ちが^がで^でき^きな^なか^かつ^つた。^ある^ある^あひ^ひお^おじ^じい^いさん^{さん}が^がい^いつ^つた。「^おま^まえ^えは^はお^おま^まえ^えの^のま^まま^まで^でい^いい^いん^んだ^だよ^よ」^その^そこ^こと^とば^ばに^にゆ^ゆう^うき^きを^をも^もら^らつ^つた^たフレッドは、^じぶ^ぶん^んの^のや^やり^りた^たい^いこ^こが^がわ^わか^かつ^つた。^それ^れは^は……。



(38) ちいさなしまのだいもんだい

スムリティ・ブラサーダム・ホールズ 文 ロバート・スターリング 絵 なががわちひろ 訳
光村教育図書 32P 27×26cm 1,500円〔創作絵本〕

どうぶつむらのひつじ、うま、うし、ぶたとちいさなしまに
すむあひるとがちょうは、おたがいたすけあいながらくらして
いた。けれどあるとき、いちわのがちょうが「われわれだけで
くらそう！」といいだし、しまにかかっていたはしをこわした。



(39) チャーリー、こっちだよ

キャレン・レヴィス さく チャールズ・サントソ 絵 いわじょうよしひと やく
B L 出版 40P 26×29cm 1,700円〔創作絵本〕

ヤギのジャックは、ようじんして見ていた。〈だれでもぼく
じょう〉にあたらしききたウマのチャーリーを。チャーリーは
目がかたほうしか見えない。ひとりでとおくにいけないチャー
リーに、ジャックはこえをかけた。「チャーリー、こっちだよ」



(40) 俳句ステップ!

おおぎやなぎちか 作 イシヤマアズサ 絵
佼成出版社 96P 22cm 1,300円〔日本文学〕

え、なんで? あたし、応募^{おうぼ}なんてしてない。あたしが遠足^{えんそく}で
作った俳句^{はいく}が市の俳句大会^{たいかい}で子ども俳句大賞^{たいしょう}ににえられた。
でも作者^{さくしゃ}として先生^{せんせい}から名前^{なまえ}がよばれたのは、クラスの優等生^{ゆうとうせい}
の早知恵^{さちえ}さんだった。どういこと? あたしの俳句^{はいく}なのに……。



(41) ぼくのあいぼうはカモノハシ

ミヒヤエル・エングラール 作 はたさわゆうこ 訳 杉原知子 絵
徳間書店 170P 22cm 1,400円〔外国文学〕

すごい! ぼくは大発見^{だいはっけん}しちゃったんだ。人間^{にんげん}のことばがわか
るカモノハシを。その子の名まえはシドニー。とおくにいるぼ
くのパパが住む町^{まち}と同じ名まえだ。パパに会いたい……。する
とシドニーはさらりと言った。「いっしょに行けばいいのです」



(42) ぼくの席がえ

花田鳩子 作 藤原ヒロコ 絵
PHP研究所 79P 22cm 1,200円〔日本文学〕

今度の月曜日^{こんどげつようび}は3年2組^{ねんくみ}の席がえの日。席がえはワクワクド
キドキする。ひかるは、まなみちゃんがとなりか近く^{ちか}の席だっ
たらいいなと思っていた。その時^{とき}、けんとがでかい声^{こえ}で教室^{きょうしつ}
とびこんできた。「このクラスに転校生^{てんこうせい}がくるみたいだぜ!」



(43) まっくろいたちのレストラン

島本理生 作 平岡瞳 絵 瀧井朝世 編
岩崎書店 32P 28×22cm 1,500円〔創作絵本〕

もりでひとりきりのまっくろいたち。ひらいたレストランは、またたくまにゆうめいに。「こなきばとかおですから。きらいになるでしょう」ずっとせをむけていたまっくろいたちに、うさぎのおじょうさまは、にっこりとほほえみ……。



(44) ゆりの木荘の子どもたち

富安陽子 作 佐竹美保 絵
講談社 125P 22cm 1,300円〔日本文学〕

ゆりの木荘は百年以上まえの洋館で、魔法がかかけられているという。古時計だけを残し老人ホームに変わった。ここに暮らす森野さんと佐倉さんがおしゃべりをしていると、手まり歌が聞こえた。その歌を佐倉さんが歌いおえたとき、古時計の針が……。



(45) わたしたちのカメムシずかん ―やっかいものが宝物になった話―

鈴木海花 文 はたこうしろう 絵
福音館書店 40P 26cm 1,300円〔カメムシ〕

「カメムシには、種類によってそれぞれ名前があるようです。いっしょにしらべてみませんか？みんなで〈カメムシはかせ〉になりましょう！」楽しく言う校長先生の言葉に、みんなはちょっととまどった。臭くてめいわくなだけの虫だから……。



◆ 小学5・6年生から ◆

(46) あおいの世界

花里真希 著
講談社 221P 26×18cm 1,400円〔日本文学〕

お父さんの転勤でカナダへ。新年度は9月始まりなので、6年生になっちゃった。空想を自分だけで楽しむようになったら、みんなからさけられて。あんなに居心地が悪かったのに、日本が恋しいのかな。カナダではふつうにしているのと。



(47) 朝顔のハガキ —夏休み、ぼくは「ハガキの人」に会いに行った—

山下みゆき 作 ゆの 絵

朝日学生新聞社 217P 22cm 1,200円 [日本文学]

ばあちゃんの家で暮らす6年生の山口誠矢。夏が来ると、毎年、ばあちゃんに届く不思議なハガキ。文章はいつも同じ。小2のとき、ばあちゃんはハガキをびりびりに破って捨てた。今年の夏休み、「ハガキの人」に会いに行けないだろうか。



(48) 雨女とホームラン

吉野万理子 作 嶽まいこ 絵

静山社 221P 20cm 1,300円 [日本文学]

「占い当たります。1回3000円」高いんだよなあ、と6年生の竜広はいつもため息をついて通り過ぎていた。でも今日は1000円に値下がりしている。バックの内ポケットには、もし野球でケガしたときのタクシー代の千円札が。よし行ってみよう。



(49) アリババの猫がきいている

新藤悦子 作 佐竹美保 絵

ポプラ社 219P 21cm 1,500円 [日本文学]

イラン出身のアリババが飼っている猫のシャイフは、人間の言葉がわかる。〈ひらけごま〉という世界の民芸品をあつかう店に一週間あずけられることに。夜になり店主の石塚さんの部屋でいろいろな声がきこえてきた。石塚さんはねているのに。



(50) お蚕さんから糸と綿と

大西暢夫 著

アリス館 48P 26cm 1,500円 [養蚕]

何万頭もお蚕さんの命を止める。赤ちゃんから育ててきた養蚕農家の西村さんの仕事はここまで。繭はこれから糸とり名人や繭むき名人の手によって糸や綿に変わる。感じる温かさは、小さな命が身にまとってきた温もりと同じだ。



(51) おじいちゃんとの最後の旅

ウルフ・スタルク 作 キティ・クローザー 絵 菱木晃子 訳

徳間書店 166P 19cm 1,700円 [外国文学]

おじいちゃんは怒りっぽい。入院先の看護師さんたちにきかない言葉をぶつける。でも、ぼくはおじいちゃんが大好きだ。「わたしには、まだいくつかがやりたいことがある」ぼくはおじいちゃんのために病院を抜け出すカンペキな計画を立てた。



(52) おっちょこ魔女先生 —保健室は魔法がいっぱい！—

廣嶋玲子 作 ひらいたかこ 絵

KADOKAWA 159P 19cm 900円 [日本文学]

舌を火傷した5年生のいさな。保健室のドアを開き、「こんにちはー！おっちょこ先生、いますかー？」返事はなし。ベッドのカーテンを開くと、「ああ、うそ！なんで、自分に魔法がかかったの？」人間の声でぴーぴー叫ぶハムスターがいた。



(53) 消えたレッサーパンダを追え！ —警視庁「生きもの係」事件簿—

たけたにちほみ 文 西脇せいご 絵

学研プラス 171P 22cm 1,400円 [警視庁]

警視庁生活環境第三係、通称「生き物係」には、全国から事件の報告が集まってきていた。「なんだって！千葉県からレッサーパンダが消えた？」ワタボウシマリンとレッサーパンダの盗難事件である。福原警部補は、動物園へ捜査に向かった。



(54) スイマー

高田由紀子 著 結布 絵

ポプラ社 358P 20cm 1,500円 [日本文学]

小1から通っていたスイミングクラブに居場所がなくなっていた6年生の航は、東京から佐渡島へ引っ越した。転校した日から水泳オタクの海人たちは「おれたちと……水泳やらない？」「水泳は好き？」って誘ってくる。「水泳、水泳」っもうしつこいな。



(55) チェンジ！ —パラアスリートを撮り続けて、ぼくの世界は変わった—

越智貴雄 著

くもん出版 190P 20cm 1,500円 [パラアスリート]

「障害のある人に、カメラを向けてもいいのだろうか？」迷いのあった越智さんはどうしてパラアスリートの写真を撮り続けているのか。初めてのパラリンピックで見た、先人観や偏見という色メガネを通さない景色が、世界を大きく広げていく。



(56) トップラン

つげみさお 作 森川泉 絵

国土社 143P 20cm 1,400円 [日本文学]

5年生の島田航平は走るのが苦手で、運動会では1年生のときからずっとビリ。『きみはもう体験したかい？ふみ出すその一歩には無限の可能性が詰まっている』人気のくつトップランのコマーシャルを見たとき、航平の心臓がドクンとはねた。



(57) 本能寺の敵 —キリサク手裏剣—

加部鈴子 作 田中寛崇 画

くもん出版 231P 20cm 1,300円 [日本文学]

織田信長の天下統一まぎわ、忍びとして育てられた涼音は信長に仕える明智光秀の屋敷で働く。ある日涼音に向け風を切りさく棒手裏剣が、木の上にいたのはいっしょに修行した徳川家康に仕える風斗だった。「信長を殺れるのは明智だけだ」



(58) 虫のしわざ図鑑

新開孝 写真・文

少年写真新聞社 160p 21cm 2,000円 [昆虫]

「かじかじ」や「すけすけ」「くるくる」……。虫が、植物の葉や枝、実を食べたり、かじったりすると、かじったあとや穴が残る。そのかじりあとや穴が「虫のしわざ」だ。ハンノキの葉のあみ目状になった「あみあみ」これはどんな虫のどんなしわざだろう。



(59) ライラックのワンピース

小川雅子 作 めばち 絵

ポプラ社 238P 20cm 1,400円 [日本文学]

ぼくは山田智広。6年生。サッカーチームで活躍し、頼りにされている。ただ友達には言えないことがある。それは、ぼくが裁縫少年だということ。ある日ハーブ園で出会ったリラちゃんに思い出のワンピースのお直しを頼まれて……。



(60) ラグリマが聞こえる —ギターよびびけ、ヒロシマの空に—

ささぐちともこ 著 くまおり純 絵

汐文社 139P 20cm 1,500円 [日本文学]

「今から見に行ってみようよ。ほんとうに、怪人がいるかどうか」広島に住む5年生の美音は、ライオン頭の怪人が住むという洋館に行くことに。のぞいてみようと思いのくぼみに手をかけた。そのとき！何か、聞こえてくる。この音……。



◆ 中学生から ◆

(61) 赤毛証明

光丘真理 作
くもん出版 141P 20cm 1,300円 [日本文学]

赤毛でなにがわるい。きれいじゃなかった、この髪の毛。それなのに、生徒手帳の1ページ真ん中に、赤いゴム印で『赤毛証明』とおされてから、ありのままの自分をみとめられなくなった。あたし、堀内めぐ、頭の中がぐちゃぐちゃだよ。



(62) 兄の名は、ジェシカ

ジョン・ボイン 著 原田勝 訳
あすなろ書房 270P 20cm 1,500円 [外国文学]

僕の自慢の兄「ジェイソン」は、サッカー部のキャプテンで勉強もできて、優しく、みんなの人気者。おまけに彼女は学校一の美人。だから気づかないふりをしていたんだ。ジェイソンがブロードの髪を長く伸ばし、かかれてメイクしていることに。



(63) 天邪鬼な皇子と唐の黒猫

渡辺仙州 著
ポプラ社 300P 20cm 1,500円 [日本文学]

おれさまは唐土では「霸王」と呼ばれていた有名な黒猫だ。路地裏でとっつかまり、ネズミ退治のために船に乗せられたのが運命。平安時代の倭国に連れてこられ、天皇に献上された。摂関政治やら権力争いやら人間どもはどこでもややこしい。



(64) おいで、アラスカ!

アンナ・ウォルツ 作 野坂悦子 訳
フレーベル館 259P 20cm 1,400円 [外国文学]

8ヶ月前に大好きなゴールデンレトリバーのアラスカを手放したパーケル。転校してきた意地悪なスフェンがアラスカの新しい飼い主だと知る。驚きと悔しさのあまり取り戻そうと計画し、真夜中、スフェンの部屋にしのびこむのだが……。



(65) キャラメル色のわたし

シャロン・M・ドレイパー 作 横山和江 訳
鈴木出版 309P 20cm 1,600円 [外国文学]

パパは黒人でママは白人。二人が離婚したせいで、今週はパパ、来週はママの家で眠る。自分の生活を半分に分られるのはうざり! せめてもの救いは、毎週学校をかえる必要がないこと。でもそこで、友人である黒人のイマーニに事件が起こった。



(66) サード・プレイス

ささきあり 作 酒井以 絵
フレーベル館 253P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

中学生の瑞樹はリアルな友達と趣味のマンガの世界をきっちりとわけている。でも「いけーっ！」と叫んだ瞬間、心の内にある何かはじけた。ここでは〈好き〉を全開にしていんだ！学校とも家ともちがう——第三の居場所。



(67) 朔と新

いとうみく 著
講談社 287P 20cm 1,500円 〔日本文学〕

バスの事故で兄の朔が視力を失ったのは自分のせいだと感じ、陸上競技を遠ざける弟の新。そんな新に朔が伝えたのは、ブラインドマラソンへの挑戦と、その伴走者になってほしいという願いだった。一本のロープが、二人をつないでいく。



(68) 団地のコトリ

八東澄子 作
ポプラ社 207P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

団地の窓のひとつひとつにいろいろな暮らしがある。違う生活がある。でも、下の部屋はじいちゃんの一人暮らしのはず。窓からのぞいていた女の子は一体誰？気になりつつも、私にできることなんてないよね、と美月は自分に言い聞かせるが……。



(69) てのひらに未来

工藤純子 作 酒井以 画
くもん出版 204P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

佐々川精密工業——お父さんで三代目。医療機器から宇宙航空関連の部品まで「職人の技」を誇る。でも、今うちの工場は苦しいみたい。その不安を天馬に相談してみる。天馬ってというのは、うちの居候。まだ17歳なのに、うちで2年も働いている。



(70) ドーナツの歩道橋

升井純子 著
ポプラ社 278P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

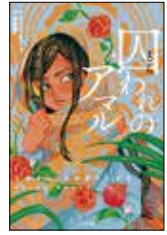
大好きだったおばあちゃんがおかしくなっていく。不安で友達にも言えない。高校生の麦菜は家族でおばあちゃんの介護を始めた。おばあちゃんも家族も、好きだけどきらい。きらいけど好き。どうしたらいい？なにができるの？



(71) 囚われのアマル

アイシャ・サイード 作 相良倫子 訳
さ・え・ら書房 255P 20cm 1,600円 〔外国文学〕

父親の借金のかわりに、大地主一族の屋敷^{やしき}で使用人として働かされることになった12歳のアマル。一切の自由も、将来教師になる夢^{いっさい}もうばわれてしまった。けれどもアマルはあきらめなかった。この囚われの身が自由になる日がくると信じて。



(72) 橋の上の子どもたち

パドマ・ヴェンカトラマン 著 田中奈津子 訳
講談社 255P 20cm 1,500円 〔外国文学〕

インドの下層カーストの少女ヴィジ。父さんの暴力と、ただ耐えるだけの母さんのもとから飛び出してホームレスになる。姉のラクと迷子の子犬、橋の上で出会った仲間とともに生きていく。希望なんてどこにあるの？でもそんなある日……。



(73) ハジメテヒラク

こまつあやこ 著
講談社 228P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

「おはようございます。実況^{じっきょう}はわたし、綿野^{わたの}あみがお送りします」仲間外れにされた時、あみは脳内実況してつらさをやり過ごし、実況の楽しさに目覚めた。ひょんなことで生け花部に入ったあみ。文化祭の生け花ショーを実況することに!?



(74) 無限の中心で

まはら三桃 著
講談社 253P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

高校2年の野崎^{のざき}とわは、新聞部の助っ人として数学研究部の取材を頼まれる。そこにいたのは数学オリンピックを目指す個性豊かな部員達。そこでは、最近誰かが難問の解答を木曜に置いていくというミステリーが……。とわには思い当たる人物がいた。



(75) ワタシゴト —14歳のひろしま—

中澤晶子 作 ささめやゆき 絵
汐文社 127P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

みさきは広島への修学旅行直前に骨折したが、事前学習で知った遺品のワンピースをひとめ見たかった。えんじ色のレースがついた花模様。背中が裂けている。混雑する資料館の中、車椅子で近づくと服の持ち主の澄んだ声^すが聞こえてきた。



選 定 委 員

大野 裕美	(高木幼稚園)	黒長 賀恵	(高木幼稚園)
小河内 めぐみ	(南甲子園幼稚園)	藤川 優子	(大社幼稚園)
田中 咲也子	(北六甲台小学校)	濱田 恵美	(東山台小学校)
久島 典子	(春風小学校)	増田 千勢	(広田小学校)
三谷 真由美	(元・上ヶ原南小学校)	小林 陽子	(用海小学校)
小丸 麻里	(安井小学校)	塩野 恵子	(浜脇小学校)
菅谷 旬美子	(上甲子園小学校)	今井 梨紗子	(名塩小学校)
西久保 蓉子	(鳴尾東小学校)	上田 綾子	(塩瀬中学校)
坂本文 枝	(甲陵中学校)	高田 直子	(鳴尾中学校)
平野 みづほ	(苦楽園中学校)	松井 智華	(平木中学校)
井上千 恵	(中央図書館)	大森 陽子	(中央図書館)
小林 亜希子	(中央図書館)	谷口 孝次	(元・中央図書館)
谷口 陽子	(北口図書館)	橋本 敦子	(中央図書館)
深川 冴起	(中央図書館)	牧山 由里	(鳴尾図書館)

表紙 澤 利政・山口 志興

読んでごらんおもしろいよ2021

令和3年(2021年)7月1日発行

編集・発行 西宮市産業文化局生涯学習部読書振興課

〒662-0944 西宮市川添町15-26

TEL 0798-33-0189 FAX 0798-33-2266

西宮市立図書館ホームページ <https://tosho.nishior.jp>

共に学び、考え、行動する消費者市民社会の実現をめざして

西宮市では、
自分で考え、行動できる消費者の
育成を目指し、消費者教育を推進します。

●契約は慎重に!! おかしいと思ったら、ご相談ください●

西宮市消費生活センター【相談専用】 TEL 0798-64-0999

または 消費者ホットライン 188(いやや)

子ども安全メール from 消費者庁

子どもの事故に関する情報や豆知識をあなたの携帯電話に配信します!

登録はコチラ➡

消費者庁携帯サイト
QRコード



